

このページは、**直接入力**はできません。そのまま見るか印刷して使ってくださいね!!

おもしろ国語④3

おもしろ国語④2で紹介した小川未明「野ばら」のはじめの部分です。

野ばら

小川未明



大きな国と、それよりすこし小さな国とがとなり合っていました。とうざ、その二つの国の間には、なにごととも起こらず平和でありました。

ここは都から遠い、**国境**であります。そこには両方の国から、ただ一人ずつの**兵隊**がはけんされて、**国境**を定めた**石碑**を守っています。

大きな国の**兵士**は、**老人**でありました。そうして、小さな国の**兵士**は青年でありました。

二人は、**石碑**の立っている右と左に番をしていました。いたつてさびしい山でありました。そして、まれにしかその**辺**を旅する**人影**は、見られなかったのです。

初め、**たが**いに顔を知りあわない間は、二人はてきか味方かというような感じがして、ろくろくものもいませんでしたけれど、いつしか二人は仲よしになってしまいました。二人は、ほかに話をする相手もなくなっていくつであったからであります。そして、春の日は長く、うららかに、**頭**の上に**照**りがやいているからでありました。